

## 瀬戸内海国立公園宮島地区パークボランティア募集要項

H18.9.1

1. 募集人員 約20名

### 2. 活動内容等

- ・活動箇所 瀬戸内海国立公園宮島地区及びその周辺
- ・活動目的 瀬戸内海国立公園・宮島を主な活動場所とし、自然解説、環境整備(美化清掃・施設管理)や調査研究などをおこなうことにより、国立公園の保護と適正な利用の推進に寄与する。主な活動内容は以下のとおり
  - (1) 自然観察会等の自然解説活動
  - (2) パンフレットの作成・配布・掲示等の普及啓発活動
  - (3) 美化清掃・施設補修・環境保全等の環境整備活動
  - (4) 自然環境の状況調査等の調査研究活動
  - (5) 研修会・セミナー開催等の自己啓発活動
  - (6) その他活動の目的を達成するための活動
- ・活動期間 通年(年間計画に基づいて活動)
- ・報酬旅費等 無報酬(活動に際しての備品などは環境省負担、軽微な備品・交通費・会員相互の連絡などは別途年間千円を会で徴収し運営、弁当・活動地までの交通費は自己負担)
- ・補償 ボランティア活動中の事故による傷害等の補償については、環境省が加入するボランティア保険の範囲内。
- ・登録 パークボランティアとしての登録は、2年間。ただし、補充など期間の途中で登録をおこなった場合は、次の更新までの期間とする(今回の場合は、平成20年3月末まで)。引き続き活動を希望する場合は、登録の更新可。

### 3. 応募方法

所定の応募用紙(HPよりダウンロード若しくは返信用封筒に80円切手を添付、同封のうえ郵送請求)に必要事項を記入し、郵送若しくはメールで申し込み(9/20必着)

申込先：〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎 2号館6階  
中国四国地方環境事務所 広島事務所 担当：高木 宛  
メールアドレス：moe-hiroshima@env.go.jp

申込期間：平成18年9月1日～20日（20日間）

#### 4. 応募資格

ボランティアとしての資格は、次の条件を満たす人から選考し、中国四国地方環境事務所長が登録する。

- (1) 自然とのふれあい及び環境学習に関心を持ち、自然保護・自然観察等に理解を示す18歳以上の者。
- (2) パークボランティア活動に参加出来るだけの体力を有すること。
- (3) 政治や宗教的立場を離れてパークボランティア活動に参加するもの。
- (4) 活動内容等に賛同し、かつ登録に際しての研修活動に参加することが可能な人。(平成18年10月より翌年3月までの間で指定する5日間のうち3日間以上。第1回は必須参加。)

#### **研修予定日**

第1回	平成18年10月14日(土)	紅葉谷公園の園地・歩道の補修・清掃(整備部会)午後：講義
第2回	平成18年10月29日(日)	公募観察会(自然と歴史探訪):杉の浦・鷹巣高砲台・包ヶ浦コース(観察部会)
	(下見 10月21日(土))	任意参加可能)
第3回	平成18年12月2日(土)	研修会
第4回	平成18年12月9日(土)	弥山登山道の補修及び清掃活動(整備部会)
第5回	平成18年3月25日(日)	公募観察会(自然観察):大元・弥山・紅葉谷コース(観察部会)
	(下見 3月17日(土))	任意参加可能)

#### 5. その他

今回募集に際しては、以下の活動に参加・協力できる意欲・能力を有する人材を優先的に募集。

- ・ 広報部会として、ホームページの作成、広報誌の編集に携わること。
- ・ 観察部会として、一般市民を対象とした自然観察会の企画・運営・インターンシップ(自然解説)を行うこと。
- ・ 観察部会として、宮島の自然環境の調査・記録・公開作業(HP原稿の作成)等を行うこと。
- ・ 整備部会として、公募の清掃活動の企画・運営をおこなうもの。
- ・ 会の運営について、幹事メンバーとして会の活動の企画・検討、助成金申請などのプロジェクト立案を行うこと。

応募者多数の場合には、優先事項・部会等のバランスなどを考慮し、書類選考します。

活動起点(広島県廿日市市 宮島口)まで概ね1時間程度で来られる方を希望。

メンバーの声 宮島を好きな人が大勢集まって、活発に活動しています。自然が好きだったり、宮島をより深く知り楽しんでもらうことに取り組んでもらえる方はぜひ参加して下さい。山が好きな人、海が好きな人、植物が好きな人、鳥が好きな人、色んな人が集まって、新しい刺激を受けたり、勉強ができ、楽しく気軽に宮島に貢献できる活動ができると思います。

募集案内送付先

- ・ 環境省ホームページ
- ・ 廿日市市広報(9/1号 締め切り8/1 発行部数4万6千)
- ・ 近隣市(廿日市市・広島市)の各種ふれあい施設、民間活動支援施設
- ・ 県庁記者クラブ
- ・ 近隣の大学など教育施設